

学校経営推進費 評価報告書（最終）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立西成高等学校
取り組む課題	生徒の希望する進路の実現
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 希望の進路実現率および定着率（第2学年末におこなう進路希望調査の実現率） ・ 「生徒の成長実感率」
計画名	西成高校「暮らしと仕事をつなぐシチズンシップ育成」プロジェクト

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>2 キャリア教育でエンパワーする [SDGs 働きがいも、経済成長も]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 挫折や失敗からリカバーするチカラを育成する。 ・ アルバイト支援（経営推進費）を継続し、2年次のインターンシップを通して、段階的・実践的な職業教育を実施する。 ・ 社会人基礎力の養成を行う。（1年次からの人間関係作りなどを含めた） ・ 定着支援にも重点をおく。 <p>4 「地域まるごと」エンパワーする [SDGs 住み続けられるまちづくりを]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「産業社会と人間」「エンパワーTIME」「総合的な学習の時間＝チャレンジ」の取組みをエンパワメント学習発表会で報告する。 ・ 地域防災の取組みを地元自治体とともに小中高の連携で行う。
事業目標	<p>本計画は、わが校がめざす「三つの自立/生活的自立・社会的自立・職業的自立」のためには、地域の人から評価を受けたり、また自ら役立ったとの実感することにより自尊感情を高める必要がある。</p> <p>【学習】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「当事者」として自らの生活を「意識化」し、地域課題を自らの問題として理解し実践するチカラの育成 ② 地域課題に直面し市民力を養う学習を活用し「生きる力」をデザインできる生徒の育成 ③ 西成の歴史・文化に親しみと誇りを持ち、西成区や西成高校のことをポジティブに語れる生徒の育成 <p>→エンパワ演習（1年次）、産業社会と人間（1年次）、総合的な学習の時間（のち総合的な探究の時間）や自由選択科目（エンパワタイム）2年次、総合的な学習の時間（のち総合的な探究の時間）カリキュラムマネジメントを通じて実現！</p> <p>【キャリア教育】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① インターンシップのための地域本部を作る ② 就労に不安のある生徒への相談支援専門員の配置 ③ 就労相談支援の場として校内 JOB カフェ=Job cafe にしなり すてっぷルームを週3回程度開催する。 <p>※ 教育と福祉の連携は言うまでもなく、さらに労働への支援を学校システムに組み入れる。</p>
整備した 設備・物品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内 JOB カフェ=Job cafe にしなり すてっぷルーム の開設 開設のために→電話、テーブル、椅子、タイル・カーペット、エアコン、無線 LAN アクセスポイント、書棚など ・ 校内 JOB カフェの運営委託費（2年め、3年めはランニングコストとして）
取組みの	<p>主催者： カリキュラム開発→首席</p>

主担・実施者	<p>校内 JOB カフェ運営→首席 実施者： 教務学習課、進路指導課を中心にシステムを運用 → すべての教職員が学級担任として教科担任として実施</p>
本年度の取組内容	<p>【1】学習（内容のブラッシュアップ、地域との協働を企図する内容に変更） ○ 総合的な探究の時間（全員必修 1単位）教科横断 →①卒業後の自立に向けて、自分が困ったときどうするのか？相談支援の活用のしかたなど。 ○ 地域福祉入門（福祉/2単位/選択授業） 【2】政治的教養を高める ○ 地域課題研究（仮） 西成区（地元地域）の課題に対する政策提言をおこなう。 【3】キャリア教育 ○ 校内 JOB カフェによる取組み、インターンシップの総括などを地域との連携の視点からまとめる。</p>
成果の検証方法と評価指標	<p>① 希望の進路実現率 …………… 85%以上 ② 学校教育自己診断での成長実感の肯定感 …………… 85%以上 ③ 地域人材を育成する地域と協働した評価指標として、地域実習（インターンシップ）における地元（大阪市）企業数…………… 60社 ④ 地元への定着率を測るものとして、就職斡旋者の就職率の向上…………… 80%以上</p>
自己評価	<p>① 希望の進路実現率 94% …………… (◎) ② 学校教育自己診断における「高校に入学して自分は成長したと実感している。」の肯定感：1年：73.6%（昨年度 76.0%）、2年：85.8%（昨年度 80.2%）、3年：89.4%（昨年度 79.0%）、全体：83.0%（昨年度 78.4%）…………… (○) ※ 目標値にわずかに及ばないが、2年生3年生で目標値を超えており、3学年間の在籍で成長実感が高まっていることがわかる。 ③ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、今年度も2度計画したが、一度もインターンシップは実施できなかった。…………… (△) ※ 総合的な探究の時間（2年次）のみならず、産業社会と人間（1年次）においても、進路指導課のキャリア教育担当者が、学年横断で全員必修一単位の授業を実施。そのことにより、学年全体が均質に学ぶことができた ※ 校内 JOB カフェでは昨年度から継続してアルバイト支援を実施。昨年に引き続き、生徒一人ひとりに合った支援を行うため、大人数でのガイダンスを廃止し、個別カウンセリングを中心として支援を行った。利用生徒数は17名。アルバイトの合格につながった生徒5名、アルバイト探しを継続している生徒5名。 ④ 就職斡旋者の地元就職率：97.6%…………… (◎)</p>
事業のまとめ	<p>【1】学習（内容のブラッシュアップ、地域との協働を企図する内容に変更） ○ 総合的な探究の時間及び産業社会と人間における地域協働のキャリア学習は再度人権学習と統合し、進路保障課（新設）において統括し、地域協働キャリアセンターを設置する中で学校文化として育てる。 ○ エンパワメント演習（1年次）において、「労働問題について」というカリキュラムを実施する。 ○ 地域福祉入門（福祉/2単位/選択授業）において、地域福祉施設へのボランティアなど参加型の地域連携授業を実施する。 【2】政治的教養を高める ○ 地域課題研究（仮） 西成区（地元地域）の課題に対する政策提言をおこなう。（令和5年度実施の教育課程から） 【3】キャリア教育</p>

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">○ 校内 JOB カフェによるアルバイト支援の取組みをさらに充実させるとともに、インターンシップの総括などを通じて地域との連携の視点からまとめる。※ 新設を計画している地域協働キャリアセンターを「地域協働本部」（コミュニティスクール）を意識して運用する。 |
|--|--|

3. 事業費報告

今年度事業費総額	500,000	円
----------	---------	---

積算内訳

* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

積算内訳	科目（節）	番号	内訳	単価（税込）	数量	金額
	1 報償費		1			
		2				
		3				
					小計	0
2 旅費		1				
		2				
		3				
					小計	0
3 消耗需用費		1				
		2				
		3				
					小計	0
4 維持需用費		1				
		2				
		3				
					小計	0
5 役務費		1				
		2				
		3				
					小計	0
6 委託料		1	校内JOBカフェの運営委託費	¥500,000	1	¥500,000
		2				
		3				
					小計	500000
7 使用料 及び賃借料		1				
		2				
		3				
					小計	0
8 備品購入費		1				
		2				
		3				
					小計	0
9 工事請負費		1				
		2				
		3				
					小計	0
10 負担金・補助 及び交付金		1				
		2				
		3				
					小計	0
					合計	¥500,000